

# 有害プランクトン情報 (令和元年度 - No. 3)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	6月 第1回	内湾 (8地点)	6/3	内房 (7地点)	6/3
		6月 第2回	内湾 (8地点)	6/17	内房 (7地点)	6/18
	貝類漁場内	銚子 6/7	九十九里 6/7, 13, 21, 24	千葉北部 6/3, 19, 26		
		木更津北部 6/6, 12, 20, 25	木更津南部 6/6, 13, 20, 25	富津 6/5, 12, 19, 26		

## 【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) は確認されませんでした。  
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL を超えた場合に注意報を発出します。

## 【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンの最高細胞密度は、アレキサンドリウム カテネラが 6/13 に一部の貝類漁場で 0.025 細胞/mL でした。なお同種は 5/13 に一部の貝類漁場で 45.20 細胞/mL まで増加しましたが、この時の貝類検体から麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高細胞密度は、ディノフィシス アキュミナータが 6/3 に千葉灯標で 10.30 細胞/mL でした。なお同種は 5/7 に船橋で 18.125 細胞/mL まで増加しましたが、被害情報はありませんでした。他種はディノフィシス ロツンダータが 6/3 に船橋で 0.25 細胞/mL 等でした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

<p>○ <b>各海域で見られたプランクトンの優占種</b></p> <p>6/3 内湾 珪藻 シュードニッチア属 (図1), スケルトネマ属, レプトキリンドルス属 内房 珪藻 シュードニッチア属, キートセロス属</p> <p>6/17 内湾 珪藻 タラシオシラ属 (図2), スケルトネマ属</p> <p>6/18 内房 珪藻 シュードニッチア属, スケルトネマ属</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="159 1512 606 1848"> </div> <div data-bbox="614 1512 1053 1848"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="159 1848 606 1915"> <p>図1 シュードニッチア属 (6/3 千葉灯標)</p> </div> <div data-bbox="614 1848 1053 1915"> <p>図2 タラシオシラ属 (6/17 船橋)</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;"><b>調査点</b></p> <p>● プランクトン調査点 ▲ 貝類漁場内</p>
<p>連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所 〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp</p>	